

当資料は、2025年4月8日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳版です。

米国リリース原文：<https://www.dell.com/en-us/dt/corporate/newsroom/announcements/detailpage.press-releases~usa~2025~04~dell-technologies-unveils-infrastructure-innovations-built-to-power-modern-ai-ready-data-centers.htm#/filter-on/Country:en-us>

2025年4月9日

デル・テクノロジーズ株式会社

デル・テクノロジーズ、AI 対応のモダン データセンターを支える 数々のインフラストラクチャーのイノベーションを発表

ニュースの概要

- 業界をリードするインフラストラクチャー ポートフォリオ全体にわたり、データセンターのモダナイゼーションを加速させる数々のイノベーションを提供
- サーバー、ストレージ、データ保護を網羅した数々の先進的機能 —— パフォーマンス、効率、拡張性の向上により、従来のワークロードと最新のワークロードの両方のニーズを容易に満たすことが可能

2025年4月8日、テキサス州ラウンドロック発：

デル・テクノロジーズは、業界をリードするサーバー、ストレージ、データ保護ポートフォリオ全体にわたり、データセンターのモダナイゼーションを支援するために設計・構築した数々の先進的機能を発表しました。

現在、多くの組織が、AI の台頭や従来および最新のワークロードをサポートする必要性、また高まるサイバー攻撃の脅威などに対応するため、IT 戦略を見直しています。このような中、IT 部門は拡張性、効率性、適応性の向上を実現するために、コンピューティング、ストレージ、ネットワークを共有リソース プールとして抽象化する、分離型のインフラストラクチャーへの移行を進めています。

今回デル・テクノロジーズが提供するサーバー、ストレージ、データ保護のイノベーションは、お客様が IT インフラストラクチャーに対するアプローチを刷新し、既存および最新のワークロードのニーズを満たすことができるように構築されたものです。

「Dell PowerEdge」サーバーが卓越したパフォーマンス、効率性、拡張性を提供:

P コア搭載のインテル® Xeon® 6 プロセッサを実装した「[PowerEdge R470](#)」「[R570](#)」「[R670](#)」「[R770](#)」サーバーは、1U および 2U フォーム ファクターのシングル/ダブルソケット サーバーで、ハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）、仮想化、アナリティクス、AI 推論といった高い要件が求められる従来および、

最新のワークロードを容易にサポートします。

- **ワークロードの統合を改善**：「PowerEdge R770」では、複数のレガシー プラットフォームを統合して電力効率を飛躍的に高めながら、42U ラックで最大 80%の省スペース化を実現できます。これにより、エネルギーコストと温室効果ガスの排出量を最大で半減できるとともに、プロセッサあたりのコア数を最大 50%増やし^(*)1)、パフォーマンスを 67%高められます^(*)2)。データセンターのフットプリントが削減されることで、サステナビリティの目標達成を促進しながら、パフォーマンスを損なうことなく全体的な TCO（総所有コスト）を削減できます。
- **優れた効率で卓越したパワーを提供**：パワフルで効率に優れた「PowerEdge R570」は、インテルの記録的なワットあたりのパフォーマンス（Performance per Watt: PPW）を実現し、高パフォーマンス ワークロードを維持しながらエネルギー コストの削減をサポートします^(*)3)。
- **将来を見据えた設計**：OCP（Open Compute Project）の一部である DC-MHS（Data Center – Modular Hardware System）アーキテクチャーによって、運用を簡素化しながら将来にわたる対応が可能になります。DC-MHS によってサーバー デザインが標準化され、より簡単に既存のインフラストラクチャーへ統合できるようになるため、お客様の選択肢の幅も広がります。
- **管理の合理化**：「PowerEdge」サーバーは、「Dell OpenManage」の強化およびリアルタイムモニタリングを含む「iDRAC（Integrated Dell Remote Access Controller）」のアップデート（「iDRAC 10」）により、合理化された管理と堅牢な保護を実現します。PCIe Gen 5 HW Raid コントローラー「PERC13」と組み合わせることで、書き込みレイテンシーを最大 33 分の 1 に短縮します^(*)4)。

「Dell PowerStore」が、データ管理を簡素化しながらパフォーマンスとセキュリティの向上を実現：

「[PowerStore](#)」のインテリジェントなソフトウェア デザインは、最新の分離型アーキテクチャーのニーズを満たす高度なデータ削減機能および独立的に拡張可能なストレージ サービスとともに、高度なプログラミングが可能な自動化されたプラットフォームを提供します。「PowerStore」の最新ソフトウェア リリースの特徴は、以下のとおりです。

- **AI を活用したアナリティクス**：「Dell AIOps」（以前の「CloudIQ」）ソフトウェアを使用し、「Smart Support」によるアラートと対応、パフォーマンス ヘッドルーム分析、カーボンフットプリント予測などにより、コストを削減しながら手作業の負担を軽減することができます。
- **ゼロトラスト セキュリティの強化**：米国防総省（DoD）のスマートカード認証のサポート、証明書の自動更新、「Storage Direct Protection」統合の強化による最大 4 倍の高速バックアップとリストア^(*)5)、さらに最新の「Dell PowerProtect」システムのサポートにより、アクセス制御と可用性の向上を実現します。
- **高度なファイル システム サポート**：数々の高度なファイル管理機能、セキュアなファイル スナップショットによる堅牢なデータ保護、容量へのインサイトによるスマートなストレージ計画、また「Dell Unity」システムからの効率的な移行により、システムのパフォーマンスが向上します。

次世代「Dell ObjectScale」が、パフォーマンスとスケールの向上を実現:

デル・テクノロジーズは、業界最高のパフォーマンスを提供するオブジェクト プラットフォーム「[ObjectScale](#)」の次世代バージョンを発表しました⁽⁶⁾。「ObjectScale」は卓越した拡張性、パフォーマンス、効率性を AI ワークロードに提供します。また、次世代「ObjectScale」はエンタープライズ グレードのアーキテクチャーを進化させるとともに、新たな数々のオールフラッシュおよび HDD アプライアンス オプションを提供します。

- **AI 向けの高速オブジェクト**：「ObjectScale XF960」は、業界をリードする AI ワークロードに対応するパフォーマンスを提供するために、高速なイノベーションを実現します。最も近い競合製品と比べてノードあたり最大 2 倍のスループットを提供し⁽⁷⁾、前世代のオールフラッシュシステムと比べて最大 8 倍の密度を実現します⁽⁸⁾。
- **最新のワークロードを加速**：HDD ベースの「ObjectScale X560」は、メディア取り込み、バックアップ、AI モデルトレーニングなどの主要なワークロードを 83% の読み取りスループットで高速化します⁽⁹⁾。
- **卓越した効率とレジリエンス**：「ObjectScale」をベースに Wasabi 社と共同開発した新たな[ハイブリッド クラウド ソリューション](#)を基盤として提供し、マルチサイト フェデレーション、クラウドへのコピー、Geo レプリケーション、グローバル ネームスペース、データ ガバナンスなど数々の機能によって、より容易な AI データレイクの運用と安全な保護が可能になります。

AI データのパワーを最大限に引き出す「Dell PowerScale」の数々のイノベーション:

「[PowerScale](#)」は、モダンな AI の運用環境のバックボーンとして最適なスケールアウト アーキテクチャーです。数々の先進的機能によってテラバイト (TB) あたりのパフォーマンスの向上、データセンターの設置面積のさらなる省スペース化を実現し、手頃な価格とパフォーマンスのバランスによって TCO を最適化します。

- **高密度なオールフラッシュ ストレージ**：122TB SSD が GPU の利用率を最大化し、単一の 2U ノード構成で最大 6 PB⁽¹⁰⁾の高速データ アクセスを実現するとともに、業界をリードするパフォーマンスと密度によって膨大な AI スループット要件を満たします。
- **ハイブリッド/アーカイブ ノード**：「PowerScale」の A シリーズ/H シリーズ ノード (A310、A3100、H710、H7100) は、HDD ベースのプラットフォーム用に刷新したコンピュート モジュールによって、レイテンシーの低減とパフォーマンスの向上を実現します。精度と効率を高める柔軟で最適な TCO のポートフォリオの組み合わせによって、将来にわたりデータセンターの適応性を確保し、AI トレーニング データをより長期間保持することが可能になります。

「Dell PowerProtect」が、優れたパフォーマンスと効率でサイバー レジリエンスを強化:

デル・テクノロジーズは、バックアップ専用アプライアンスにおいて業界を代表するベンダー⁽¹¹⁾であり、このたびデータ保護機能をアップデートしました。今回のアップデートによって、サイバー レジリエンスを強化しながら、パフォーマンス、セキュリティ、効率の向上によって、さまざまなコストを削減することができます。

- **あらゆる環境に対応する拡張性と効率性に優れたデータ保護**：「[PowerProtect DD6410](#)」は、12 TB～256 TB の容量を備え、商業、小規模企業、リモート環境に最適なソリューションです。従来および新たなワークロードで最大 1.9 倍高速なリストアと拡張性に加え、業界をリードする最大 65 倍の重複排除機能による効率的な運用を実現します^(*)12)。
- **オールフラッシュのパフォーマンスと効率**：「[PowerProtect](#)」[オールフラッシュ対応ノード](#)は、デル・テクノロジーズにとってオールフラッシュ データ保護における重要な第一歩となるものです。容量 220 TB のシステムによって、一層安全で効率的なデータ保護を提供し、1.6 倍以上の高速なリストア スピード、最大 36%の消費電力削減、5 分の 1 のフットプリントを実現しています^(*)13)。
- **エンタープライズ レジリエンスの強化**：「[PowerProtect Data Manager](#)」のアップデートによって、異常検知機能によるセキュリティー リスクを迅速に発見できます。また、Microsoft Hyper-V および Red Hat OpenShift Virtualization 環境の仮想マシン (VM) バックアップを管理し、「ObjectScale」への容易なアーカイブによってデータを長期にわたり保持することが可能になります。

コメント:

デル・テクノロジーズのインフラストラクチャー ソリューションズ グループ (ISG) 担当プレジデント、アーサー・ルイス (Arthur Lewis) は、次のように述べています。「モダン アプリケーションには、絶えず変化し続けるデータセンターのニーズに応えられる新たなインフラストラクチャーが必要です。ストレージからサーバー、ネットワーク、データ保護までを網羅したデル・テクノロジーズのエンド ツー エンドの分離型インフラストラクチャー ポートフォリオによって、複雑さを軽減しながら IT の俊敏性を高め、データセンターのモダナイゼーションを促進できます」。

Enterprise Strategy Group 社 (現 Omdia 社) の主席アナリスト、Simon Robinson 氏は、次のように述べています。「多くの組織がリソース管理を改善し、管理に伴う複雑さを簡素化してくれるインフラストラクチャーへの分離型アプローチを進めるように、より一層 IT 戦略に注力しています。デル・テクノロジーズは、導入企業がこれらの課題を容易に克服し、あらゆるワークロードに対応できるように設計・構築した数々のアップデートを、インフラストラクチャー ポートフォリオ全体にわたり提供しています」。

提供時期について

- P コアおよび E コア搭載のインテル® Xeon® 6 プロセッサを実装した「PowerEdge R470」「R570」「R670」「R770」サーバーは、すでに提供開始しています。
- 「PowerStore」のソフトウェア アップデートは、すでに提供開始しています。
- 「ObjectScale」は、現行の「Dell ECS」環境向けのソフトウェア アップデートとして、すでに提供開始しています。
- HDD ベースの「ObjectScale X560」は、2025 年 4 月に提供開始予定です。

- 「ObjectScale」オールフラッシュ アプライアンスは、2025 年第 3 四半期より提供開始予定です。
- HDD ベースの「PowerScale」ノードは、2025 年 6 月に提供開始予定です。
- 「PowerScale」の 122TB ドライブは、2025 年 5 月に提供開始予定です。
- 「PowerProtect DD6410」およびオールフラッシュ対応ノード（All-Flash Ready Node）は、2025 年 4 月に提供開始予定です。
- 「PowerProtect Data Manager」のアップデートは、すでに提供開始しています。

*1. デル・テクノロジーズ社内分析に基づく - 第 6 世代インテル® Xeon® SP 6787P 搭載「PowerEdge R770」の SPECint スコアおよび SPECFP スコア（それぞれ 1550、1560）と、インテル® Xeon® 8280 搭載「Dell PowerEdge R740XD」の SPECint スコアおよび SPECFP スコア（375、296）を比較。これらのスコアの比率から、「R740XD」サーバー 5 台分の合計スコアは上記構成の「R770」サーバー 1 台のスコアとほぼ同様。エネルギー コストおよび温室効果ガスは、EIPT ツールで算出（<https://dell-ui-eipt.azurewebsites.net/#/>）。実際のパフォーマンスは変動します。仕様結果は、Dell Performance Lab でのテストに基づき 2025 年 3 月 10 日に提出。

*2. Dell Performance Lab でのサーバー テストに基づく（2025 年 3 月 10 日） - 第 6 世代インテル® Xeon® SP 6787P（86 コア）搭載「PowerEdge R770」の CPU INT Rate Base が 1550 であったのに対し、第 5 世代 8592+（64 コア）搭載「R760」のスコアは 1070、第 4 世代インテル® Xeon® SP 8480+（56 コア）搭載「R760」のスコアは 976。

*3. Dell Performance Lab でのサーバー テストおよび https://www.spec.org/power_ssi2008/results/ に公開されているパフォーマンス結果に基づく（2025 年 3 月 10 日現在） - 第 6 世代インテル® Xeon® SP 6787P（86 コア）搭載「PowerEdge R570」で、6787P CPU を搭載した 2U/1 ソケットのすべての提出データとの比較において、ワットあたり平均 21,089 のパフォーマンスを達成。

*4. デル・テクノロジーズおよび Broadcom 社のテストに基づく - 第 6 世代インテル® Xeon® CPU 搭載「PowerEdge R770」のシステム応答性テストにおいて、書き込みレイテンシーが 200 マイクロ秒オーバーからわずか 6 マイクロ秒に短縮され、アプリケーション パフォーマンスに直接影響する 33 倍の向上を実現。実際の結果は変動する場合があります。

*5. 「PowerStore 5200T」と「DD6900」の間で、Storage Direct Protection を使用したリストア パフォーマンスの内部テストに基づく。

*6. 公開データのデル・テクノロジーズ社内分析に基づく（2025 年 3 月） - デル・テクノロジーズのパフォーマンスは、ノードあたりの大規模のオブジェクト読み取りスループットおよび「ObjectScale XF960」とイーサネット ネットワークで構成されたクラスタ構成に基づく。実際の結果は変動する場合があります。

*7. 公開データのデル・テクノロジーズ社内分析に基づく（2025 年 3 月） - デル・テクノロジーズのパフォーマンスは、ノードあたりの大規模のオブジェクト読み取りスループットおよび「ObjectScale XF960」とイーサネット ネットワークで構成されたクラスタに基づく。実際の結果は変動する場合があります。

*8. 「ObjectScale XF960」で計画されている最大ドライブ容量オプションと「ECS EXF900」で利用可能なドライブ容量オプションを比較したデル・テクノロジーズの分析に基づく（2025 年 3 月）。

*9. 小規模オブジェクトの読み取りで、「ObjectScale X560」（4.0）と「ECS EX500」（3.8）を比較したデル・テクノロジーズの分析に基づく（2025 年 3 月）。実際の結果は変動する場合があります。

*10. 122TB SSD で適切に構成されたクラスタでデータ削減を考慮した有効容量分析に基づく（2025 年 5 月 28 日にリリース予定）。「PowerScale」は 2:1 のデータ削減率も保証。データ削減保証の条件：<dr-guarantee-tc-powerscale.pdf> (delltechnologies.com)

*11. 『IDC 4Q24 Purpose-Built Backup Appliance (PBBA) Tracker』の売上データに基づく。

*12. デル・テクノロジーズ社内分析に基づく - 「PowerProtect DD6410」アプライアンスと「PowerProtect DD6400」アプライアンスを比較。

*13. デル・テクノロジーズ社内分析に基づく - 「PowerProtect Data Domain」オールフラッシュ対応ノードと「PowerProtect DD6410」アプライアンスを比較（2025 年 2 月）。実際の結果は変動する場合があります。

■デル・テクノロジーズについて

デル・テクノロジーズ（NYSE：DELL）は、企業や人々がデジタルの未来を築き、仕事や生活の仕方を
変革することを支援します。同社は、AI 時代に向けて、業界で最も包括的かつ革新的なテクノロジーとサ
ービスのポートフォリオをお客様に提供しています。

###

© Copyright 2025 Dell Inc.、その関連会社。All Rights Reserved.

Dell Technologies が提供する製品及びサービスにかかる商標は、米国 Dell Inc. 又はその関連会社
の商標又は登録商標です。その他の製品の登録商標および商標は、それぞれの会社に帰属します。